

株式会社システックス(長野県長野市)【情報システム受託開発、パッケージソリューション、クラウドシステム開発】

商工会議所のイテオリ

女性の活躍推進

LEADER

代表取締役 北村 正博 氏



業務用アプリケーションを開発している株式会社システックス。「顧客満足」「社会貢献」「人材育成」を社の方針として掲げ、お客様を大切にするとともに、人間力重視の人材育成にも力を入れている。

社員を大事にし、地域のモデルに

■背景・きっかけ:

人材育成では、技術を身に付けるための技術研修に始まり、段階に応じた目的別研修を実施しているのはもちろんのこと、優れた技術を身に付ける前に優れた人間力を身に付けるといった「先心後技」をモットーにしている。

社外に向けては、地域のスポーツ・文化振興にも取り組んでいるほか、次世代を担うIT技術者の育成に注力している。具体的には、インターンシップとして高専の学生受け入れをはじめ、IT教育普及のための長野市への寄付や、小中学生パソコン教室への講師派遣など、地域に根付いた取り組みを一貫して行っている。

■取組内容・効果:

数年前から、ワークライフバランスに関する講習会を社内でも実施するなど、ワークライフバランスへの意識も高く、その考えは社員に定着している。従業員から、「仕事と生活のバランスを取りながらイキイキと過ごせる最高の環境だと思う。私はフルーツが趣味で、定期練習会やイベントでの演奏活動も行うなど、おかげさまでプライベートも充実している。ワークライフバランスを大切に考える方にはオススメ。」といった声が聞かれる等、社内では、ワークライフバランスが取れていると考えている者も多い。

こうした取り組みが、女性従業員比率の増加につながっており、「当社は子育てサポートにも理解がある。実際、私も育児休暇を経て復帰した。何人もの先輩社員が育児休暇を取ってまた復帰しているのを見ていたので、自然な流れで私も同じようにした。」と育児中の従業員が語る等、女性の育児休暇取得後の職場復帰へと自然な流れができています。

また、男性上司においても、女性の仕事と家庭の両立に配慮する姿勢がみられ、女性活躍推進の土壌が十分にできているといえる。

■今後の展望と課題

社員を大事にする会社であると同時に、同社が地域に果たしてきた役割は非常に大きい。「今後も、当社の取り組みが地域に波及していくよう努めていきたい。」としている。

中小企業の実践 ポイント

- ▶ 「ワークライフバランス」が社員に定着
- ▶ 男性上司も女性社員の活躍を応援



【企業データ】

代表者	北村 正博	会社設立年	1970年	従業員数	160人
本社所在地	長野県長野市岡田町78-11	ホームページ	http://www.systex.co.jp/		
事業内容	情報システム受託開発、パッケージソリューション、クラウドシステム開発				